

7月1日(火)文月

しちがつ
七月になりました。むかし い かた
昔の言い方では、

「文月」(ふみづき)(ふづき)と言うのが

しちがつ
七月です。

なぜ、しちがつ ぶん つき
七月が文の月になったのでしょうか。

それは、たなばた かんけい
七夕に関係しているそうです。むかし ひと
昔の人

はたなばた ねが ごと
七夕に願い事だけでなく、し うた か
詩や歌を書いて飾ったそうです。

その時に、とき じ じょうず
字が上手になるようにと願ったことから、しちがつ
七月を

「文」の月、「文月」と呼ぶようになったのだそうです。

がっこう ぶん かんけい べんきょう ことくご
学校でも、文に関係する勉強がたくさんありますね。国語

では、さくぶん
作文があります。さんすう ぶんしょうもんだい
算数では、文章問題があります。も

しかしたら、ぶん べんきょう にがて ひと おお
「文」がつく勉強は苦手だという人が多いかも
しれません。

でも、とくい
得意になるのは意外と簡単なのです。それは、たく

さんぶん か
さん文を書くこと、たくさん ぶんしょう よ
文章を読むことです。にっき
日記を

か じゅぎょう ぶん かえ か ともだち
書いたり、授業でのまとめや振り返りを書いたり、友達に

てがみ か どくしょ しんぶん よ
手紙を書いたり、読書をしたり、新聞を読んだり、いくらで

ぶん べんきょう とくい
も文の勉強を得意にできることはあります。

は き たの ぶん ちから たか
張り切って楽しく、文の力を高めましょう。 村越 新

